

2020年8月19日 全7頁

Indicators Update

2020年7月貿易統計

回復ペースは前月から加速、米国向け自動車輸出がV字回復

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄太郎

[要約]

- 7月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲19.2%とコンセンサス（同▲20.7%）をやや上回った。季節調整値で見ると、前月比+4.7%と2ヶ月連続で増加し、プラス幅は前月から拡大している。欧米各国での経済活動の再開に伴い、輸出は5月を底に回復基調に転じている。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+7.8%と2ヶ月連続で増加した。地域別に見ると、EU向け（同▲2.5%）は減少したものの、米国向け（同+43.1%）、アジア向け（同+1.9%）はいずれも2ヶ月連続で増加した。米国向けは自動車が大きく増加した。ロックダウン解除に伴うpent-upデマンドの顕在化や、それに伴う米国国内での在庫復元の動きが輸出の増加に寄与したとみられる。
- 輸出数量は8月以降も回復基調が継続するとみている。世界各国での経済活動の再開に伴い、pent-upデマンドが発現することで短期的には増加ペースが加速するとみられるが、こうした需要は一時的なものにすぎず、いずれ剥落するため、その後の回復ペースは鈍化する公算が大きい。

図表1：貿易統計の概況

		2019年		2020年						
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲7.9	▲6.3	▲2.6	▲1.0	▲11.7	▲21.9	▲28.3	▲26.2	▲19.2
	コンセンサス									▲20.7
	DIRエコノミスト予想									▲20.2
	輸入金額	▲15.6	▲4.8	▲3.6	▲13.9	▲5.0	▲7.1	▲26.1	▲14.4	▲22.3
	輸出数量	▲5.0	▲1.9	▲1.6	▲2.4	▲11.2	▲21.3	▲27.3	▲26.9	▲21.7
	価格	▲3.1	▲4.6	▲1.0	1.4	▲0.6	▲0.7	▲1.4	1.0	3.2
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	▲8.1	1.2	▲1.7	▲17.3	▲2.5	1.5	▲14.6	▲0.8	▲14.0
	価格	▲8.2	▲6.0	▲1.9	4.2	▲2.6	▲8.4	▲13.5	▲13.7	▲9.7
	貿易収支(億円)	▲884	▲1,591	▲13,151	11,066	72	▲9,312	▲8,413	▲2,693	116
	輸出金額	▲0.8	▲0.5	▲3.5	3.3	▲4.8	▲11.5	▲5.5	1.3	4.7
	数量	▲1.5	2.7	▲6.1	3.2	▲5.5	▲15.1	▲9.4	4.5	7.8
	価格	0.7	▲3.1	2.8	0.0	0.7	4.2	4.3	▲3.0	▲2.9
原系列 前年比 %	輸入金額	0.3	▲1.1	▲1.9	▲7.4	6.2	0.9	▲11.2	▲1.4	▲2.7
	数量	▲1.1	1.4	▲0.3	▲14.0	11.9	7.9	▲10.1	0.0	▲2.7
	価格	1.4	▲2.5	▲1.6	7.6	▲5.1	▲6.5	▲1.3	▲1.4	▲0.0
	貿易収支(億円)	▲1,729	▲1,307	▲2,268	4,236	▲2,269	▲9,522	▲5,524	▲4,109	▲348
	税関長公示レート	108.76	108.95	109.30	109.50	107.96	108.56	107.17	107.78	107.23

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

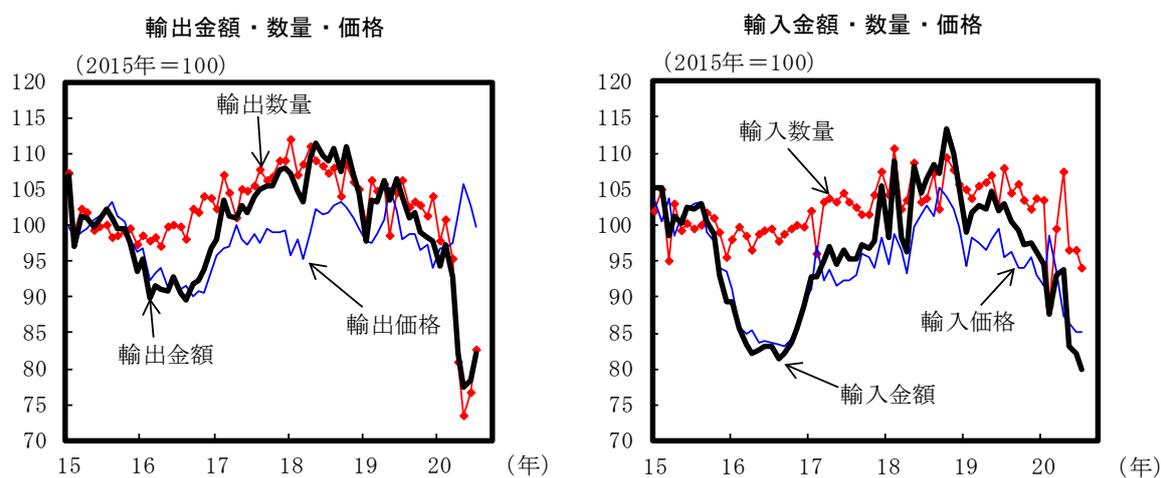
【貿易金額】前年比2桁減が続くも、マイナス幅は大幅に縮小

2020年7月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲19.2%とコンセンサス（同▲20.7%）をやや上回った。前年比では2桁のマイナスが続いているものの、マイナス幅は前月から大幅に縮小した。季節調整値では前月比+4.7%と2ヶ月連続で増加し、プラス幅は前月から拡大した。欧米各国での経済活動の再開に伴い、輸出は5月を底に回復基調に転じている。

他方、輸入金額は前年比▲22.3%とマイナス幅は前月（同▲14.4%）から拡大した。季節調整値では前月比▲2.7%と3ヶ月連続の減少である。3月、4月はマスクなどの織物用糸・繊維製品や医薬品、急速に拡大した在宅需要を受けた通信機などが押し上げていたが、5月に剥落しており、内需の弱さから7月も低迷した。

貿易収支は116億円と4ヶ月ぶりに黒字となった。季節調整値では▲348億円と5ヶ月連続で赤字となったものの、赤字幅は5月以降縮小傾向にある。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】回復ペースは前月から加速、米国向け自動車輸出がV字回復

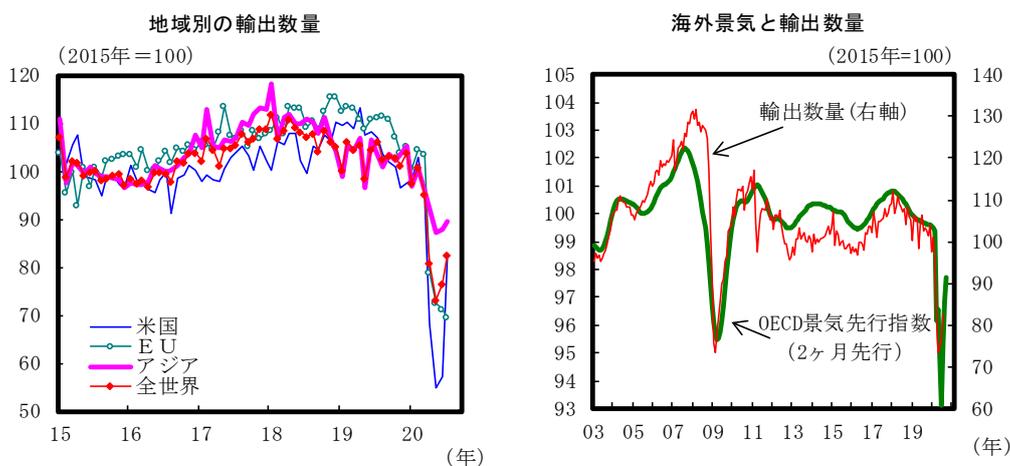
7月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+7.8%と2ヶ月連続で増加した。地域別に見ると、EU向け（同▲2.5%）は減少したものの、米国向け（同+43.1%）、アジア向け（同+1.9%）は2ヶ月連続で増加した。

7月の動きを地域別・品目別に見ると、米国向けでは自動車が大きく増加し、全体を押し上げた。米国向け自動車輸出は3月から5月にかけて急減し、5月は2019年平均対比で8割減まで落ち込んでいた。しかし6月に増加に転じ、7月は2019年平均対比で1割減の水準まで回復した。ロックダウン解除に伴うペントアップデマンドの顕在化や、それに伴う米国内での在庫復元の動きが輸出の増加に寄与したとみられる（図表4）。

アジア向けは半導体等製造装置や電算機類（含周辺機器）、同部分品などが増加した。また中国向けでは鉄鋼や非鉄金属が前月の大幅増から水準を維持していることに加え、乗用車などが全体を押し上げた。

EU向けでは鉄鋼や原動機などが全体を押し下げた。また、電気機器なども低迷が続いている。他方、5月以降増加に転じていた自動車については増勢が一服している。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）

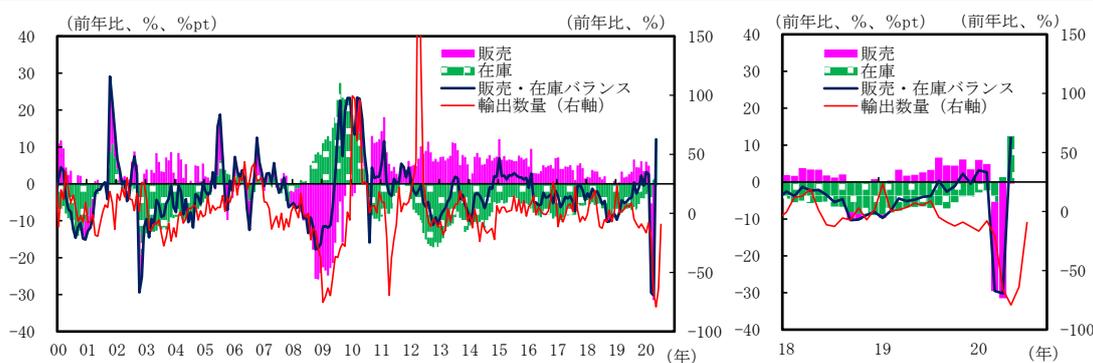


(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

図表4：米国自動車の販売・在庫バランスと米国向け自動車輸出数量（左：長期、右：短期）



(注) 3ヶ月移動平均値、米国自動車・部品小売業ベース。

販売・在庫バランス=販売前年比-在庫前年比、実質ベース。

(出所) BEA、財務省、Haver Analyticsより大和総研作成

【見通し】回復基調は維持するが、増加ペースは鈍化する見込み

輸出数量は8月以降も回復基調が継続するとみている。世界各国での経済活動の再開に伴い、ペントアップデマンドが発現することで短期的には増加ペースが加速するとみられる。だがこうした需要は一時的なものにすぎず、いずれ剥落するため、その後の回復ペースは鈍化する公算が大きい。

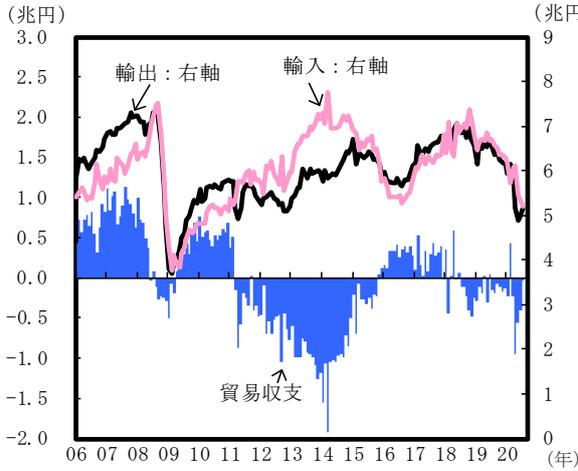
地域別に見ると、欧米向けは短期的には7月の米国向け自動車輸出と同様、耐久消費財を中心にペントアップデマンドが期待できよう。しかしながら、これらの地域向け輸出は一般機械の割合も大きい。欧米各国の工場稼働率が低迷する中では、一般機械などの資本財輸出は回復が相当に遅れるとみている。そのため輸出全体で見ても、コロナ・ショック前の水準まで回復するのは当面難しいだろう。

他方、中国向け輸出は底堅く推移するとみている。中国の小売売上高などの回復は鈍いものの、鉱工業生産指数や固定資産投資などの伸び率はV字回復し、コロナ・ショック前まで回復した。今後も地方政府特別債券などを原資にインフラ投資が全体をけん引する公算が大きい。中国向け輸出は一般機械や電気機器などに加えて、中間財（鉄鋼や非鉄金属など）の割合が高く、中国の生産や投資の回復による輸出増も見込まれよう。中国の小売は徹底的な衛生管理の下、慎重かつ段階的な緩和が行われてきた¹。足元では徐々に接触型の消費も再開されており、今後は改善ペースが上がっていくことが期待される。中国の小売売上高も本格的な回復基調をたどることとなれば、同国への最終財輸出や、中国と密接なサプライチェーンを形成しているアジア向け輸出の増加を後押ししよう。

¹ 詳細は齋藤尚登「[中国:投資主導で急回復。次は『接触型』消費 成長率見通しを上方修正。米国を中心とする対外関係悪化に要注意](#)」(大和総研レポート、2020年7月21日)を参照。

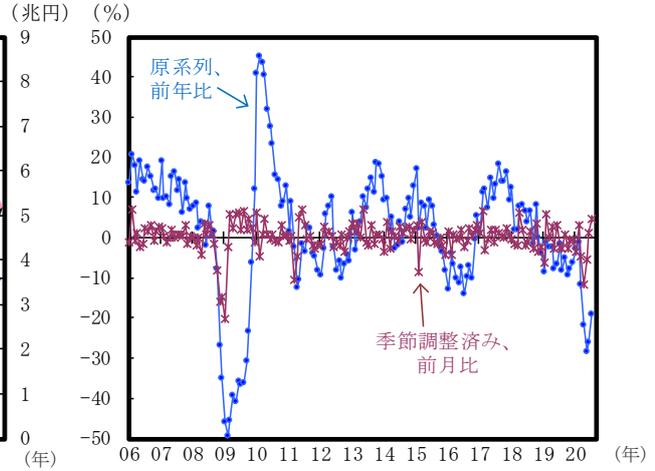
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

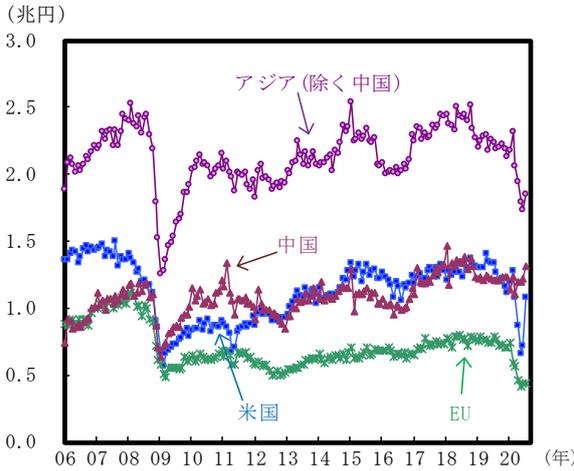


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

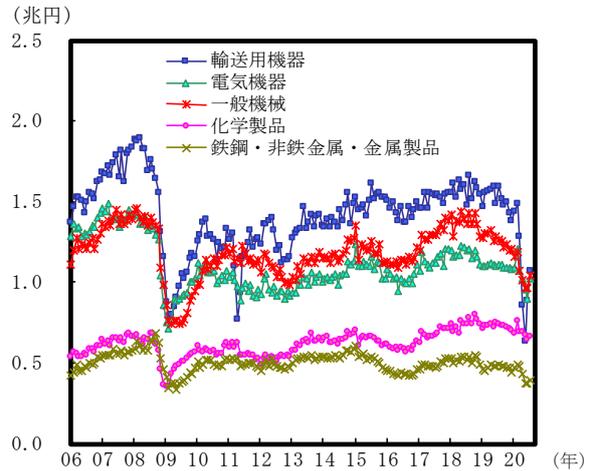


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

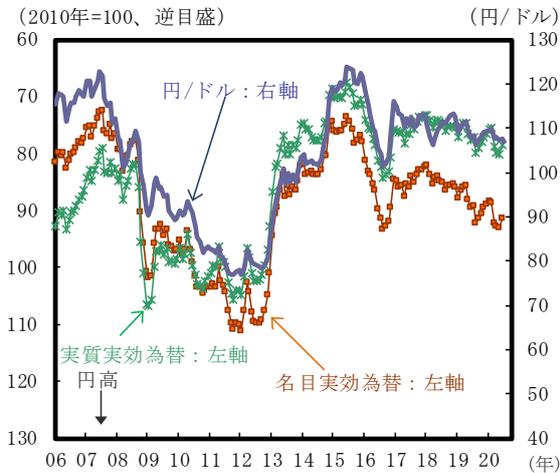


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

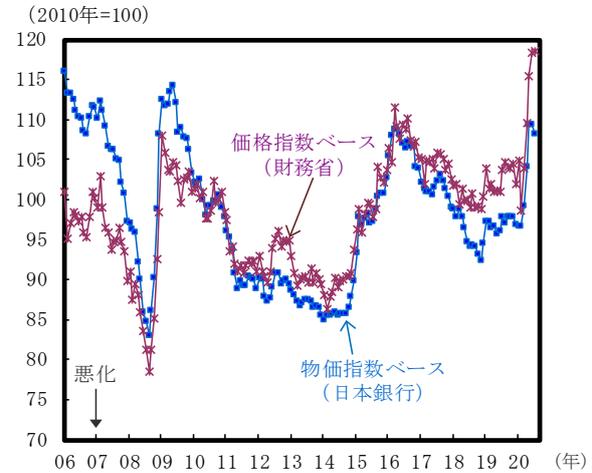


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.0	▲11.7	▲21.9	▲28.3	▲26.2	▲19.2	100.0	▲19.2
食料品	▲0.8	▲9.5	▲9.0	6.6	▲3.2	4.7	1.2	0.0
原料品	7.9	▲4.9	▲17.1	▲32.6	▲20.0	▲7.0	1.4	▲0.1
鉱物性燃料	▲17.1	▲5.5	▲40.0	▲72.6	▲53.4	▲70.4	0.7	▲1.3
化学製品	3.3	▲5.2	▲6.3	▲7.0	▲14.2	▲10.7	12.3	▲1.2
原料別製品	4.1	▲2.1	▲14.5	▲23.8	▲25.5	▲22.0	10.6	▲2.4
鉄鋼	8.9	7.3	▲9.9	▲27.6	▲26.6	▲32.0	3.5	▲1.3
非鉄金属	22.0	5.1	▲4.2	▲5.9	3.2	17.2	2.5	0.3
金属製品	▲3.5	▲13.2	▲22.2	▲26.8	▲35.4	▲28.1	1.4	▲0.4
一般機械	▲8.8	▲17.9	▲23.2	▲23.2	▲24.5	▲17.7	19.4	▲3.4
電気機器	9.8	▲3.5	▲8.8	▲13.7	▲18.5	▲7.8	19.3	▲1.3
半導体等電子部品	23.2	6.3	4.3	▲1.5	▲7.8	▲0.6	6.3	▲0.0
I C	21.4	6.0	4.3	▲6.4	▲8.3	▲2.5	4.3	▲0.1
映像機器	0.3	▲24.8	▲43.0	▲51.2	▲45.0			
映像記録・再生機器	4.9	▲27.8	▲43.1	▲49.0	▲45.5	▲20.2	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	7.1	0.1	▲31.2	▲21.0	▲60.3	▲49.8	0.2	▲0.2
電気回路等の機器	5.0	▲8.7	▲8.7	▲17.9	▲22.0	▲15.4	2.6	▲0.4
輸送用機器	▲4.1	▲18.2	▲45.5	▲60.2	▲41.1	▲32.9	20.2	▲8.0
自動車	▲4.0	▲13.1	▲50.6	▲64.1	▲49.9	▲30.0	14.2	▲4.9
自動車の部分品	▲3.6	▲17.9	▲39.2	▲57.2	▲52.3	▲32.5	3.8	▲1.5
その他	▲2.0	▲15.0	▲12.7	▲14.4	▲22.6	▲11.4	14.9	▲1.6
科学光学機器	6.4	▲8.8	▲13.1	▲14.8	▲13.4	▲6.6	3.0	▲0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.6	▲16.5	▲37.8	▲50.6	▲46.6	▲19.5	100.0	▲19.5
食料品	18.9	▲8.2	▲21.5	▲33.2	▲35.6	▲12.5	0.7	▲0.1
原料品	41.5	34.5	26.0	▲21.5	▲26.5	11.4	0.6	0.1
鉱物性燃料	21.6	▲44.9	▲55.0	▲70.0	▲28.3	▲58.8	0.6	▲0.7
化学製品	11.9	▲4.6	▲6.1	9.8	▲20.3	▲21.8	6.4	▲1.4
原料別製品	▲0.6	▲15.5	▲20.7	▲36.9	▲44.3	▲36.7	4.9	▲2.3
鉄鋼	▲21.4	▲31.6	▲28.5	▲22.4	▲51.8	▲38.2	1.0	▲0.5
非鉄金属	29.6	▲19.2	▲27.2	▲27.6	▲18.3	▲46.9	0.5	▲0.3
金属製品	1.1	▲2.5	▲21.9	▲45.9	▲53.8	▲33.5	1.3	▲0.5
一般機械	▲5.6	▲20.4	▲27.6	▲40.9	▲45.5	▲30.2	20.1	▲7.0
電気機器	8.6	▲2.1	▲22.1	▲42.2	▲37.7	▲16.5	13.7	▲2.2
半導体等電子部品	▲6.5	▲12.0	▲26.3	▲35.4	▲40.5	▲21.7	1.3	▲0.3
I C	▲12.0	▲13.9	▲31.0	▲48.3	▲45.9	▲25.6	0.6	▲0.2
映像機器	15.7	▲7.9	▲37.5	▲58.8	▲44.5			
映像記録・再生機器	16.9	▲6.0	▲40.2	▲57.9	▲49.8	▲23.4	0.5	▲0.1
音響・映像機器の部分品	12.1	11.2	▲35.3	▲63.2	▲90.5	▲83.9	0.1	▲0.6
電気回路等の機器	3.5	▲11.3	▲20.0	▲41.2	▲37.4	▲20.6	1.4	▲0.3
輸送用機器	▲7.9	▲21.7	▲62.7	▲76.4	▲60.4	▲10.5	40.6	▲3.8
自動車	▲9.2	▲23.7	▲65.8	▲78.9	▲63.3	▲6.7	32.2	▲1.9
自動車の部分品	2.9	▲17.5	▲40.9	▲73.2	▲58.3	▲19.6	5.3	▲1.0
その他	▲4.4	▲16.0	▲20.3	▲40.3	▲35.0	▲16.9	12.3	▲2.0
科学光学機器	1.3	▲9.7	▲33.1	▲27.2	▲13.8	▲11.8	2.2	▲0.2

EU・英国向け輸出金額 内訳								
	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲23.9	▲26.5	▲39.4	▲43.8	▲41.4	▲44.0	100.0	▲44.0
食料品	▲16.5	▲16.4	▲39.8	▲38.8	▲42.8	▲25.2	0.5	▲0.1
原料品	▲17.2	▲16.4	▲26.3	▲67.7	▲45.0	▲39.9	0.9	▲0.4
鉱物性燃料	▲69.0	▲49.1	12.9	▲94.0	▲76.8	▲95.8	0.1	▲1.2
化学製品	▲0.0	▲11.9	▲6.5	▲0.7	▲16.4	▲10.3	14.1	▲0.9
原料別製品	▲16.6	▲21.6	▲31.1	▲36.4	▲39.0	▲35.5	6.6	▲2.0
鉄鋼	▲2.0	▲22.1	12.3	▲15.1	1.7	▲32.2	0.8	▲0.2
非鉄金属	▲31.7	▲7.4	▲28.9	▲23.9	▲37.8	▲25.3	1.0	▲0.2
金属製品	▲21.1	▲30.3	▲44.5	▲46.2	▲46.6	▲35.9	1.6	▲0.5
一般機械	▲27.1	▲32.1	▲38.2	▲47.7	▲43.4	▲43.1	22.1	▲9.4
電気機器	▲19.3	▲20.3	▲38.0	▲34.4	▲39.1	▲29.6	19.0	▲4.5
半導体等電子部品	▲0.4	▲18.9	▲29.4	▲30.5	▲25.9	▲25.7	2.3	▲0.5
I C	▲10.5	▲30.6	▲37.5	▲39.8	▲21.2	▲30.3	0.9	▲0.2
映像機器	▲7.6	▲29.7	▲32.7	▲68.1	▲57.4			
映像記録・再生機器	4.5	▲23.8	▲58.1	▲68.0	▲51.5	▲18.7	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	0.7	▲30.9	▲0.6	▲38.0	▲52.3	▲47.0	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲23.5	▲27.4	▲31.2	▲39.8	▲41.0	▲40.3	1.6	▲0.6
輸送用機器	▲26.0	▲24.1	▲59.0	▲63.9	▲51.2	▲58.6	21.6	▲17.2
自動車	▲28.6	▲32.5	▲63.4	▲58.7	▲47.7	▲59.9	14.5	▲12.1
自動車の部分品	▲13.0	▲8.1	▲53.3	▲77.0	▲71.7	▲52.1	4.8	▲3.0
その他	▲35.2	▲38.9	▲35.6	▲38.5	▲40.0	▲49.7	15.0	▲8.3
科学光学機器	▲0.7	▲23.0	▲35.3	▲25.2	▲22.5	▲25.7	3.8	▲0.7

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	1.7	▲9.4	▲11.3	▲12.0	▲15.3	▲8.2	100.0	▲8.2
食料品	▲5.0	▲11.6	▲2.6	18.8	8.8	14.8	1.6	0.2
原料品	4.0	▲11.3	▲20.8	▲27.9	▲17.1	▲3.8	2.0	▲0.1
鉱物性燃料	9.6	20.5	▲30.9	▲59.3	▲2.2	▲57.3	0.7	▲0.9
化学製品	0.1	▲6.0	▲9.2	▲12.1	▲16.3	▲10.3	15.4	▲1.6
原料別製品	4.1	▲1.8	▲12.2	▲20.2	▲22.0	▲16.8	12.8	▲2.4
鉄鋼	7.0	5.0	▲13.1	▲30.7	▲28.2	▲29.5	4.4	▲1.7
非鉄金属	20.1	7.5	1.6	▲3.5	3.8	19.4	3.7	0.5
金属製品	▲3.5	▲15.0	▲17.0	▲15.5	▲27.2	▲24.3	1.5	▲0.4
一般機械	▲8.9	▲17.2	▲18.6	▲7.2	▲10.4	▲5.7	19.5	▲1.1
電気機器	14.8	▲1.5	1.4	▲1.5	▲9.6	▲2.2	23.5	▲0.5
半導体等電子部品	26.9	9.0	8.3	2.0	▲4.6	1.7	9.7	0.1
I C	24.3	8.3	7.2	▲3.8	▲6.2	▲0.9	7.0	▲0.1
映像機器	▲14.3	▲42.9	▲40.0	▲33.2	▲43.1			
映像記録・再生機器	▲5.2	▲43.8	▲35.7	▲26.6	▲40.4	▲18.0	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	8.6	1.5	▲32.3	▲7.6	▲40.0	▲34.3	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	8.5	▲6.2	▲3.8	▲9.6	▲15.7	▲9.7	3.5	▲0.3
輸送用機器	2.3	▲21.2	▲32.1	▲38.3	▲28.1	▲18.8	8.3	▲1.8
自動車	7.8	4.1	▲30.2	▲42.7	▲19.2	▲16.1	4.7	▲0.8
自動車の部分品	▲6.8	▲30.7	▲28.8	▲35.5	▲43.1	▲32.6	2.5	▲1.1
その他	▲1.6	▲13.3	▲4.6	▲2.8	▲16.0	▲1.3	16.3	▲0.2
科学光学機器	8.5	▲6.0	▲2.1	▲10.1	▲10.6	▲1.8	3.6	▲0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.4	▲8.7	▲4.0	▲1.9	▲0.2	8.2	100.0	8.2
食料品	▲17.0	▲1.2	18.9	41.0	17.7	▲8.1	0.8	▲0.1
原料品	▲24.4	▲36.9	▲39.8	▲44.0	▲36.2	19.3	1.5	0.3
鉱物性燃料	▲34.0	▲32.8	▲24.4	▲30.4	72.0	▲57.7	0.6	▲0.9
化学製品	▲1.6	▲5.9	▲7.5	▲2.3	▲0.6	0.8	16.3	0.1
原料別製品	▲1.8	▲6.1	▲5.6	2.2	15.6	14.0	12.1	1.6
鉄鋼	3.6	2.0	▲9.2	▲12.5	16.4	9.9	3.5	0.3
非鉄金属	▲1.9	11.8	13.1	41.4	72.0	72.4	4.0	1.8
金属製品	▲8.1	▲18.6	▲12.6	1.1	▲7.4	▲9.4	1.5	▲0.2
一般機械	▲13.3	▲14.6	▲11.6	▲3.6	▲3.3	8.9	22.7	2.0
電気機器	17.1	▲1.5	10.3	8.5	▲0.8	12.2	21.4	2.5
半導体等電子部品	31.6	14.5	29.4	5.6	▲0.3	18.3	7.1	1.2
I C	26.5	17.4	40.2	4.1	▲1.1	22.7	5.1	1.0
映像機器	▲14.1	▲46.4	▲33.1	▲16.1	▲28.0			
映像記録・再生機器	8.4	▲48.8	▲21.6	▲1.2	▲13.1	▲1.5	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	11.4	4.2	▲21.2	19.2	▲37.0	▲41.1	0.3	▲0.2
電気回路等の機器	10.6	▲12.4	0.8	3.1	▲0.0	5.1	3.7	0.2
輸送用機器	12.3	▲9.8	▲13.7	▲16.4	7.1	17.9	11.6	1.9
自動車	28.5	19.2	▲10.0	▲20.8	18.8	19.0	7.1	1.2
自動車の部分品	▲4.4	▲37.6	▲18.5	▲11.2	▲7.1	16.2	4.2	0.6
その他	2.1	▲6.8	7.5	0.5	▲10.8	4.8	13.1	0.7
科学光学機器	6.0	▲3.1	3.9	▲8.8	▲17.4	▲0.9	4.7	▲0.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成